

PRISM 審査会における各対象施策の評価結果について

令和2年8月27日
PRISM 審査会決定

PRISM 審査会において、量子技術領域及びバイオ技術領域の新規7施策について8月27日に、研究開発の内容、研究成果等を各省 PD より説明を聴取し、審査を行った。なお、5段階 (A⁺、A、A⁻、B⁺、C)での総合評価を行った。

PRISM は、民間研究開発投資誘発効果の高い領域又は財政支出の効率化に資する領域への各府省庁施策への誘導を目指すものであり、各評価項目について以下の視点で審査を行った。

1. 新規事業の評価について

新規事業については、5つの評価項目のうち、「PRISM 施策の成果(2019年度)」を除く、4つの項目について評価を行った。

PRISM の対象とすべきかという観点から、PRISM 制度目的との整合性について、民間研究開発投資誘発効果又は財政支出の効率化が期待できるかどうかという視点から確認を行った。

そのうえで、研究開発の拡大・加速については、アドオン予算により、実施件数、対象範囲の拡大や加速、計画の前倒し等がなされているかという視点であり、最重視した。民間からの貢献(マッチングファンド)については、今後、民間研究開発投資誘発効果の呼び水として、事業の進展に伴い、さらに民間投資を引き出すことが必要であり、マッチングファンドの獲得状況を評価するため、に次いで重視した視点である。政策転換については、PRISM によりイノベーション転換をはじめ、基準策定・制度変更など各府省庁の政策を大きく変換させることができるという視点で評価を行った。

また、この評価基準のほか、国研・大学における寄与度、成果見込み、元施策の予算の状況、執行状況なども聴取を行ったところ。

これら4つの個別評価項目の評価を勘案し、別添のように、各施策を5段階の総合評価とし決定している。

以上

PRISM 審査会における各対象施策の評価結果

量子技術領域

対象施策名	評価結果 (総合評価)
量子 AI 技術開発に係る開発環境の整備と検証装置の整備	A
量子生命技術開発に係る実規模実験環境の整備	A

バイオ技術領域

対象施策名	評価結果 (総合評価)
物質・材料分野の基盤的共用研究設備の遠隔化、自動化	A
SPring-8 の自動化・遠隔操作装置整備	A
スマートセル構築を加速するバイオファウンドリ設備の遠隔化・完全自動化	A ⁻
創農業・動物医薬品研究等の革新に向けた共用設備の遠隔化・自動化	A
木材活用大型建築物の普及促進に資する研究設備の遠隔化・自動化	A ⁻

(新規事業)

- A⁺ 研究開発計画が優れており、研究開発の拡大・加速が非常に期待できることから、推進費の配分は要求通り認めるべき。
- A 研究開発計画が優れており、研究開発の拡大・加速が期待できることから、原則として拡大・加速が期待され、研究開発計画も優れていることから、原則として要求通りとする。ただし、PRISM 予算総額との関係で調整を行うことがある。
- A⁻ 研究開発の拡大・加速が期待できるところ、マッチングファンドの状況も踏まえ、マッチングファンドと同額とする又は研究開発計画の一部に見直すべき点があることから当該部分を除いて実施を認める。ただし、PRISM 予算総額との関係で調整を行うことがある。
- B⁺ 研究開発の拡大・加速が一定程度期待できるものの、研究開発計画の見直しが必要であり、まずはF Sから始めるべきである。
- C 研究開発の拡大・加速に懸念があり、推進費を配分するべきではない。